

# 平成25年度 福井県立福井南特別支援学校 スクールプラン

## 【校訓】

明るい子 強い子 働く子 (地域で生活できる子)

## 【学校教育目標】

豊かな心としょうぶな体を持ち、社会生活に必要な知識と技能、態度を身に付けた生活力のある人間を育成する。

## 【教育方針】

- ・児童生徒一人一人の障害の状態や教育的ニーズを把握し、個々の課題をふまえた支援や授業の充実に努める。
- ・児童生徒の興味関心・自発性を生かすとともに、社会の変化や児童生徒の将来生活を見通し、生活に即した体験学習や交流、キャリア教育などの充実に努める。
- ・個別の教育支援計画などを活用し、家庭、地域、福祉・医療・労働などの諸機関との連携を深めるとともに、地域における特別支援教育のセンター的役割を果たす。
- ・安心で安全な学校を目指し、健康・安全・人権に関する指導や危機管理体制の充実に努める。

・人権尊重の教育を推進する。

多忙解消の取組

・会議資料の事前提示や校内メールの活用により会議の効率化を図る。

## 【重点目標】

### 1 教育課程、学習指導、生活の指導 (各学部・寄宿舎)

情報の共有と学び合いによる授業改善

①目標の共有化 ②学習環境の工夫 ③キャリア発達を育む授業づくり

(小学部)	(中学部)	(高等部)	(寄宿舎)
・教員間で目標を共有し、児童一人一人が自分の力を発揮できる学習課題や支援の工夫に取り組む。	・生徒が主体的に活動する授業改善に取り組む。	・卒業後の社会生活を見据えた一人一人の目標を生徒・保護者とともに設定し、教員間で共有する。 ・将来の自立に向けて、生徒が主体的に活動できるよう授業改善に取り組む。	・寄宿舎生が昔がに生活する力を育むために、生活基盤を整え、自立し、社会参加の力を養う支援方法の工夫に取り組む。

### 2 組織運営 (校務分掌)

・危機管理マニュアルの理解を深めるとともに、見直しを継続して行う。

### 3 組織運営 (学校全体)

・児童生徒および教職員間のコミュニケーションを図り、人権尊重の意識を高める。

#### 具体的取組

##### (小学部)

・授業研究会で教員同士が児童の様子を観察し検討し合うことで、目標の共有や授業改善につなげる。  
・児童一人一人が自分の力を発揮できる授業づくりを進めることで、キャリア発達の土台となる力を引き出す。

#### 具体的取組

##### (中学部)

・授業研究を通して、小集団での授業における環境・教材・内容等について協議しながら授業づくりに取り組む。  
・キャリア発達の視点から生徒一人一人について主体的な力の意味を捉え、保護者や教員間で共有する。

#### 具体的取組

##### (高等部)

・長期目標の作成の際には生徒や保護者と面談や懇談を行い、短期目標の作成にあたっては各授業担当者が長期目標の内容を確認し作成する。  
・授業研究を通して、キャリア発達の視点で見えてきた育てたい力を意識し授業内容の改善を図る。

#### 具体的取組

##### (寄宿舎)

・支援計画の目標に対する取り組み(①健康・体力・情緒②基本的な生活習慣③コミュニケーション④地域生活)を達成するために、寄宿舎指導員が保護者や担任との連携を図り、支援方法の工夫と統一した支援を行う。

#### 具体的取組

・危機管理マニュアルが運用できるよう、研修を行い、個々の役割について理解を深める。

#### 具体的取組

・児童生徒の年齢など個々を尊重した呼び方をする。  
・心の交流を図るために、顔と顔を合わせ、あいさつや会話を促す。